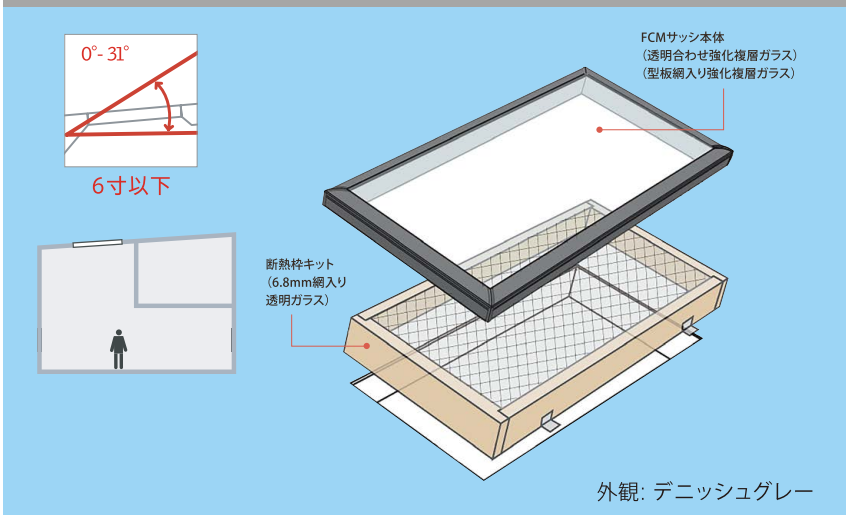
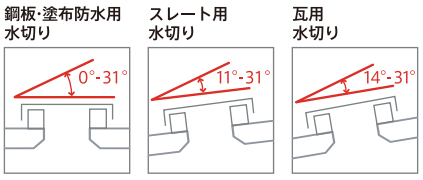
フラットシリーズ
FCMフィックス断熱タイプ

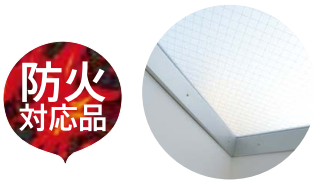


製品情報

陸屋根・緩勾配でも使えるフラットシリーズ FCM フィックスタイプの断熱バージョン。
本体枠にガラスが一枚加わることにより、断熱性が格段にアップ。
使用勾配は 0°～ 31°　　枠がなく広々空を見渡せます。防火枠のご用意もあります。
装備　Neat®ガラス（標準）※型板網入りガラスを除く
　　断熱枠キット（別売）※枠を組立てた状態で納品
　　施工キット（別売）
勾配　0寸-6寸　（0°-31°）

屋根材によって使用可能な勾配が異なります
鋼板、塗布（塗膜）防水：0寸-6寸
スレート：2寸-6寸
瓦：2.5寸-6寸





防火オプション：防火枠キット

勾配についての注意点
ガラスをアルミ成形の外装板が覆っているため、勾配が緩いとガラスに雨水が残りやすくなります。ガラス周辺のシーリングとガラス下の排水機構による二重構造で高い水密性を実現していますが、雨水が残らないようにするためには、なるべく勾配をとることをおすすめします。
※ガラスに残る雨水が防水保証に影響を与えることはありませんのでご安心ください。

製品保証

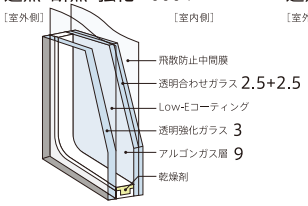
20年保証
内部結露

10年保証
雨水侵入･水切り
ガラスシール

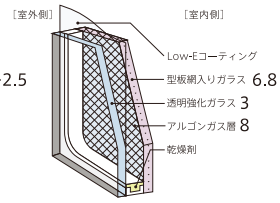
保証・アフターメンテナンスについて
詳しくは ウェブサイトをご確認ください。

ガラス

透明合わせ強化複層ガラス
遮熱･断熱･強化　0004



型板網入り強化複層ガラス
遮熱･断熱･強化　0035



室外側には、普通ガラスの3～5倍の強度を持つ強化ガラスを標準装備。また、室内側には、割れても破片が飛び散らず、安全性の高い合わせガラスや網入りガラスを採用。より安全性･防犯性にすぐれた仕様になっています。

項　目	0004	0035
日射侵入率％ （日射熱取得率:η）	29(0.29)	29(0.29)
UVカット率 ％	99	96
ガラス熱貫流率 W/㎡･K	1.5	1.7
本体熱貫流率 W/㎡･K	1.74	1.74※

日射侵入率は国立研究開発法人建築研究所「平成２８年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「開口部の垂直面日射取得率」に基づきます。
※2025年5月現在の試験値です。最新の試験値はウェブサイトをご確認ください。
※透明合わせ強化複層ガラスによる代表試験値になります。

項　目	等級と対応値
耐風圧性	S-6※1
気密性	A-4※1
水密性	W-5※1
断熱性	H-6※2

●ベターリビングつくば建築試験研究センターおよび､建材試験センター実測値
※1 JIS A 4706（平均風速66.9m/s･最大瞬間風速34.6m/s･降雨量240mm/hに相当）
※2 JIS A 4710（K=1.9 W/㎡･K以下）

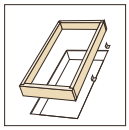
設計仕様

規格サイズ		2222	2234	3422	2246	4622	3434
取付可能勾配※1		0-31°	0-31°	0-31°	0-31°	0-31°	0-31°
外枠外のり寸法	W×H(mm)	648×648	648×952	952×648	648×1257	1257×648	952×952
野地開口寸法	mm	542×542	542×846	846×542	542×1151	1151×542	846×846
採光面積※2	㎡	0.29	0.45	0.45	0.62	0.62	0.71
正味重量 FCM0004	kg	11	16	16	20	20	22
限界積雪量0004※3	cm	212/319	111/167	111/167	93/139	93/139	87/131
限界積雪量0035※3	cm	106/160	54/81	54/81	44/67	44/67	41/62

※1 ただし、屋根材により制限があります。
※2 採光面積は標準納まりを基に計算されています。内装仕上げによって異なります。
※3 0～5.5寸(0～30°)で設置した場合の限界積雪量(積雪単位重量 3kg/㎡･cm左/2kg/㎡･cm右)

枠キット

「FCMフィックス断熱タイプ」の本体枠は組上げた状態で納品されます。
防火枠キットを使用される場合も、本体枠に6.8mm網入り透明ガラスがセットされている為、FCMは透明合わせガラスと型板網入りガラスのどちらも使用可能です。



断熱枠キット
CBSR



防火断熱枠キット
CBIT-SR

参考　<天窓（トップライト）の防火および耐火上の考え>

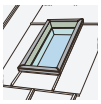
・トップライトは防火上、耐火上の点からみると「屋根」として考える必要がある。「外壁」の一部である防火設備の規定対象とはならない。
・防火地域および準防火地域以外の市街地の屋根については、法第22条に従い不燃材で仕上げる必要がある。
・耐火建築物または準耐火建築物であることを求められる建築物の場合は、主要構造物である屋根として30分耐火を満たす必要がある。
・準防火地域の木造3階建ての天窓はイ準耐（30分耐火の屋根）と同じ扱いになります。

<table>
<tr><td colspan="3">準防火地域</td><td>その他の市街地</td></tr>
<tr><td>4F～
（または1500㎡を超える建物）</td><td colspan="2">3F
（または500㎡を超える建物）</td><td rowspan="3">1F～2F</td><td rowspan="4">1F～</td></tr>
<tr><td colspan="3">新防火地域 ※注1</td></tr>
<tr><td>4F～
（または500㎡を超える建物）</td><td colspan="2">1～3F</td></tr>
<tr><td colspan="3">防火地域</td><td rowspan="2">1F～2F</td></tr>
<tr><td>3F～
（または100㎡を超える建物）</td><td colspan="2">1～2F</td></tr>
<tr><td>耐火建築
屋根（屋根開口部）</td><td>準耐火建築（イ準耐、ロ準耐1延焼あり）
屋根（屋根開口部）</td><td>準耐火建築（ロ準耐1延焼なし、ロ準耐2）
屋根（屋根開口部）※注2</td><td colspan="2">法第22条指定
屋根（屋根開口部）※注2</td></tr>
<tr><td colspan="2">30分耐火の屋根
例示仕様：鉄材で補強されたガラスブロック若しくは網入りガラスで造られたもの「平成12年告示第1399号第五の3」</td><td colspan="3">屋根を不燃材で葺く
ただし、網入りガラスが指定される場合あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">【申請根拠】
鉄材で補強された 網入りガラス
でつくられた天窓</td><td colspan="3">【申請根拠】
アルミとガラス（不燃材）
でつくられた天窓</td></tr>
</table>

断熱枠キット　　防火断熱枠キット

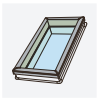
専用水切り

鋼板キット
MTL



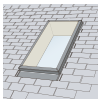
主に瓦棒葺き、縦ハゼ葺きなど積雪地以外の起伏のない屋根材に最適です。
※積雪地では建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、FCM本体や周辺部に雪がたまらない様にしてください。

塗布（塗膜）防水キット　MB



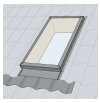
主にシート防水など塗布系の屋根材に最適です。

スレートキット
ECL



主にスレート、カラーベストなどの屋根材（厚さ8mm以下）に最適です。

瓦キット
ECW



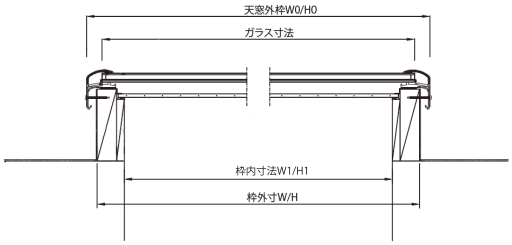
主に波瓦、S瓦、和瓦など起伏のある屋根材（厚さ8mm以上）に最適です。
※延長エプロンも別途ご用意しています。



施工説明書 →QRコード

各部寸法

横断面図（縦断面図 共通）



※ 枠はオプション（断熱枠キット）となります。

■各部寸法表（FCM）

単位：mm

規格番号	枠外寸 W	枠内寸 W1	天窓寸法 W0	枠外寸 H	枠内寸 H1	天窓寸法 H0	ガラス寸法 I x J
2222	648	542	689	648	542	689	629 x 629
2234	648	542	689	952	846	994	629 x 934
3422	952	846	994	648	542	689	934 x 629
2246	648	542	689	1257	1151	1299	1239 x 832
4622	1257	1151	1299	648	542	689	1239 x 629
3434	952	846	994	952	846	994	934 x 934

■主な仕様

主部材	フレーム（アルミニウム、・デニッシュグレー）
副部材	木、気密材（TPE ラバーガスケット）、コーナーキー（ASA 樹脂）
ガラス	高断熱・遮熱複層ガラス（外側 / 強化ガラス標準） 合わせガラスに使用のフィルム：厚さ 30 ミル（0.76 ㎜）
取付可能勾配	0～6 寸以下（ただし屋根材により制限あり）
出荷形態	ガラス組み込み済み完成品
別売品	施工キット、断熱枠キット